

2022年もあとわずかとなりました。コロナ第8波の感染拡大やインフルエンザなど他の感染症との同時流行も危惧される中、判断は別れるところですが、様々な工夫をこらしながら、イベントなども開催されるようになってきました。withコロナ時代に向けて、まだまだ課題は多いですが、誰もが安心して日常生活を送れるように、引き続き頑張ります!!
皆様も健康に留意されて、どうぞいいお年をお迎えください。

Topics

- 11月定例会議報告
- 常任委員会報告
- 地域の皆様と!

小川やすえ

チームしが県議団
滋賀県議会議員



プロフィール

- 徳島県鳴門市出身 ● 岡山大学文学部卒業 ● 1996年滋賀へ ● 1997年子育てや女性の一步を応援する「びいめ〜る企画室」創設。代表として情報紙発行、コミュニティカフェ運営等に携わる
- 2011年〜2014年守山市議会議員
- 2019年〜滋賀県議会議員

祝辞を述べさせて頂いた市政功労表彰式にて、山田巨宏元市長、宮本和宏市長と守山市政について様々な意見交換させていただきました。1970年の市政施行以来、5代に渡って守山の発展に尽力くださった歴代市長に感謝です。宮本市長は今期で引退を表明されていますが、しっかりとこの流れが受け継がれることを期待します!

重要犯罪である強制的性交・強制わいせつの都道府県別の認知件数を平成22年〜平成26年までの5年間の平均値をとり、人口1万人当たりの認知件数で比較したデータを見ると、滋賀は多い方から9番目で、大阪、京都、兵庫と近畿圏が押し並べて多いことが読み取れます。また、平成26年の同様のデータでは、滋賀県は5番目と、やはり多い状況がわかります。これは、実際に発生が多いとも取れますが、性的被害を受けた場合警察等に申告した率は犯罪白書によると9.7%から18.5%にとどまっております。つまり8割以上の方は声も上げられていないことを踏まえると、近畿圏、特に滋賀県はおうみ犯罪被害者支援センターが中心となり、相談・支援体制の強化に努めてきたので、声を上げやすい環境があるとも言えます。性犯罪はその特性上なかなか公にならず、見えにくい犯罪ですが、実は滋賀県でもこれだけ身近に起こっていて、決して他人事ではない、ということから、その対策を訴えました。

まず、滋賀の性犯罪の状況を確認したい。

都道府県別性犯罪認知件数(平均値)

警察庁犯罪統計資料2014より

11月定例会議 一般質問

性犯罪被害者支援について

重要犯罪である強制的性交・強制わいせつ

11月29日〜12月21日開催。物価高対策などの補正予算等が可決されました。
録画はこちらから

● **未成年者及び小学生以下が、強制的性交等、強制わいせつの被害にあった件数は?**
警察本部長 ▼ 令和3年は42件、令和4年10月末現在では43件となっており、うち、小学生以下の被害件数は、令和3年は7件、令和4年10月末現在では7件となっている。

● **増え続ける多様化する相談や業務に対して、警察部内カウンセラーが1名ではあまりに少ないのではないか。**
警察本部長 ▼ このカウンセリングは、当初は年間数件程度であったものが、令和3年は百数十件と増加しており、カウンセラー1名にかかる業務量が増大していることから、体制の充実をはかるように進めていく。

● **犯罪被害者支援は特殊な分野。カウンセラーをサポートする相談役が必要ではないか。**
警察本部長 ▼ カウンセラーはその任務上、犯罪に遭われた被害者等と接し、感情表出に直面することで極めて強いストレスを受け、心身に不調をきたすおそれもある。こうした点を踏まえ、カウンセラー自身が、平素より、精神医学や臨床心理学等に関する高度な知識と技術を有する部外の専門家から適切な助言・指導を受けられるようにする体制の整備を進めている。

● **小学生以下の被害も毎年発生しており、被害の低年齢化が進んでいる。小さな子供が被害にあった場合、長期にわたる支援など、大人とは違う対策が必要ではないか。**

警察本部長 ▼ 強制的性交等は、令和2年に15件で、令和3年には25件、令和4年10月末現在では21件となっている。強制わいせつは、令和2年に44件で、令和3年には58件、令和4年10月末現在では57件となっており、令和2年以降増加傾向である。

令和3年の強制的性交・強制わいせつの都道府県別の人口1万人あたりの認知件数は、滋賀県は全国5位、凶悪犯罪と位置付けられる強制的性交のみを見ると、全国一高くなっており、滋賀県として危機感を持って取り組むべきということを、重ねて訴えました。

● **最近では男性が被害者となるケースも増えてきており、県内でも実際に報告されていると聞く。女性とはまた違った配慮も必要になってくるかと思うが、男性が被害者の場合の支援体制はどのようになっているのか。**
警察本部長 ▼ 被害者が希望する男性若しくは女性の捜査員を聴取にあてるなど、その心情に配慮した対応を行い、カウンセリングを要望した場合も、カウンセラーの性別を選べるようにするなど、被害者に寄り添った対応を講じるようにしている。

● **盗撮や痴漢は、再犯率が大変高く、病理性があるとされる。次の被害者を出さないためにも、病理性のある加害行動への抑制策が必要ではないか。**
警察本部長 ▼ 指摘のような観点からも、関係機関・団体等が連携して再犯防止の取組を推進する必要があると考えており、子どもを対象とする暴力的性犯罪をした者に対する再犯防止に向けた措置等を講じている。

● **平成27年犯罪白書の特別調査で、服役中に性犯罪再犯防止プログラムを受講した場合と非受講の場合の比較が掲載されており、5年後の性犯罪再犯率が非受講の満期釈放者で25.5%、受講した仮釈放者で5.6%と大きな開きがあることが報告されている。是非とも今後さらに進めていただきたい。滋賀県再犯防止推進計画に記載されている「性犯罪者等満期出所後の新たな支援制度」の検討状況について伺う。(裏面に続く)**

警察本部長 ▼ 幼児や児童が犯罪被害にあった場合、「性暴力被害者総合ケアワンストップピヴォ湖」、「おうみ犯罪被害者支援センター」と緊密に連携し、子どもの特性にも配慮し、必要に応じて保護者のカウンセリングも並行して行うなど、子供や保護者に寄り添った支援を継続的に行っている。また、中学生以下の被害者が必要に応じ迅速に精神科での適切な医療の提供が受けられるようにするため、当県の医師会や病院協会の協力を得て、「医療機関リスト」を作成し、医療機関への円滑な引継ぎや長期にわたる適切な支援を受けられる体制を整備している。

健康医療福祉部長▼現在国において、地域で活用可能な再犯防止プログラムの開発を含めた性犯罪者等に対する専門的処遇についての検討が進められており、国や他府県の動向も把握しながら、来年度に予定している県再犯防止推進計画の改定の中で、性犯罪者も含めた再犯防止について、支援のあり方について考えていく。



●性犯罪ワースト2位が続いていた福岡県では、「性暴力加害者相談窓口」を設け、ホームページなどでも広く周知し、面談や再犯防止プログラムを行ない、また、「見守り猫母ちゃん」と題して、実際にあった事案をもとにした、漫画や動画を公開し、「みまもっち」という防犯アプリの普及に取り組みしており、成果を上げている。参考にしたい。

健康医療福祉部長▼引き続き、他の自治体の事例も参考にし若い世代に効果のある周知啓発に取り組みしていきたい。

●性犯罪被害者支援や、発生抑止広報について、もっとと広域で連携して取り組むべきでは。

知事▼指摘いただいたように、現下の性犯罪被害の状況を踏まえ、広域で連携した犯罪抑止に向けた取組というのが重要であるということから、令和4年度は、近畿2府4県警察と企業が共同で痴漢・盗撮等抑止啓発ポスターを作成し、駅や商業施設に掲示を行っている。また、近年SNSにより、面識のない人との出会いが全国に広がっており、性犯罪被害者支援についても、広域的な取組が必要だと考えている。県としても、様々な場も活用しながら、より広域的に連携した対応ができるよう検討していきたい。



先ほども紹介しましたが、再犯防止プログラムは有効とわかっていても、認知件数が少ないと、施策が進みにくいという現実です。県警の電光掲示板でも流していただいているように、「誰にでも起こりうる」という理解が進み、今、声を上げられていない、80%以上の方が、安心して、当然のこととして訴えることができる環境づくりが進むことを切に願います。

教育・文化スポーツ常任委員会

委員長として、委員会審議だけでなく、3年ぶりとなる県外調査や、県民参画委員会などに取り組みました!

県外調査では、「不登校特例校」「部活の地域移行」「美術館」「第一種陸上競技場」について宮城県と福島県を訪れ学ばせていただきました。東北初の不登校特例校「富谷市立富谷中学校西成田教室」では、富谷市教育長から設立にあたっての人材集めに奮闘された経緯をうかがいました。「うまくいくかどうかは、とにかく「人」です!」とのメッセージに、本年度当委員会の重点審議事項とした「教育人材の確保と育成」、さらに進めなくてはという思いを新たにしました。



廃校となった校舎を活用したコミュニティセンター内に設置された長閑な環境の西成田教室。



20年前から地域スポーツクラブと連携してきた栗原市立志波姫中学校。



平成7年のふくしま国体のメイン会場あづま総合運動公園は、民間ボランティアと協力した地域猫の取り組みも



県民参画委員会で滋賀大教育学部を訪れ、学生たちと意見交換させていただきました。教職への不安として、口々に「多忙」という言葉があがり、教職員の働く現場をよりよくしていくための取り組みの必要性を新たに実感しました。



地域のみなさまと



滋賀ダイハツアリーナ 開館記念式典 SHIGA DAIHATSU ARENA



もりやまエコフェスタ 2022 琵琶湖の美味しい幸、8つ



守山学区民のつどいにて 県でもお世話になった、元滋賀県総務部長の森中たかふみさんと遭遇。福井すみこ市議と一緒に、子育てのことなど意見交換させていただきました。



立田町おたのしみ抽選会 たくさんの子どもたちが参加していて、本当にいい光景だなあとつくづく(^ ^)



守山ハーフマラソン 元県総務部長の森中たかふみさんも20キロ完走。さすが、43歳!若いです!!



もりやま冬ホテル 福井すみこ市議、連合の仲間みなさんと労働相談の街頭活動。



秋の夕べ 森のつどい ~光と音のシンフォニー~ 県議会を代表して、一言ご挨拶と、灯の点灯式のスイッチを押させていただきました。素敵な竹灯籠の回廊、じっくりと見させていただきました。



グランドメゾン お餅つき 年末恒例。今年も11臼つきました。返し手修行も何年目か。まだまだですが、少しは上達したかな?!



中洲ふれあいの灯 守山の冬の風物詩。今年も無事に点灯しました。中洲学区も世帯数が増えて1000軒を越えたという嬉しい報告もありました!